



食育の日の給食風景

司会 町長は、先ほど食についての重要性を述べられました。学校給食に対しても強い思いがありますよね。

町長 食育では、地産地消やただ食べで美味しいというだけではなく、いろいろな学習要素が含まれています。行儀作法から後片付け、食材は何なのか、だれが作ったのか、作っている人に感謝の気持ちを持つなど、まさに大切な「食育」の機会だと考え

給食は食育の重要な場

ですが、関わるうちに「自分もできる」ってなりましたから（笑）。教育の質を高め、子どもたちに自信を持たせてほしいですね。



英語村の様子

を選び、自分の目で確かめてみることを進めています。中学生には、二校合同ハイキングを通して、ときがわ町の歴史・文化・自然を、肌で感じ取ってもらおうと考えています。

二つ目の大きな柱としては、学力向上です。特に、小学校低学年から「学校で勉強するって楽しいな」という意識を植え付けたいと考えています。昨年から小学校の低・中学年に、学習支援員を配置することができました。やはり、小学生になったら、「友達と遊ぶのも楽しいけど、勉強もすごく楽しいな」という子どもを育てていきたいと思っています。

議長 私は、世界で活躍できる人間が育つ教育をしてほしいとずっと言っています。そのために、これから大事なものは外国語ですね。

町長 町では新しい取り組みとして、「英語村」※を始めたところです。学校教育に加え、こつこつとした取り組みをどんどん広げ、語学力の基礎を身につけさせたいと考えています。

議長 経済だけじゃなくて、教育が資本になる町づくりに取り組んでもらいたいので、教育に力を入れることは大賛成です。また、やる気のある子は自分で勉強します。ノーベル賞を取りたい、宇宙に行きたい、そういう

ています。もし給食を無料にする、予算がいくらかかった、という現実的な議論にどついてもなってしまう、その結果給食の質を落とす力が作用するのではないのでしょうか。そうすると美味しくなくなる、そして残飯で捨ててしまう。それならば、お金を余計にかけることにより美味しい給食を出して、完食してもらった方がむしろ賢明なのではないか、こう考えました。

議長 食育は大切なこと。今は地産地消の取り組みを一生懸命やっていますね。

教育長 学校栄養士が「コロナ渦の中、せめて子どもたちに全国各地を巡って楽しんで欲しい」という思いで、毎月19日の「食育の日」に日本全国各地の料理を提供※しています。これが子どもたちにもたいへん好評で、この日を楽しみにしていると聞いています。さらに、令和2年度は、前年度よりおかずの数を増やし、毎日3品付けていますが、給食費は据え置きとしています。成長期の子どもにとって、食べることは大変重要なことです。家庭の料理にはかないませんが、給食の充実に向けてしっかりと

教職員のレベルアップを図る

町長 もう一つは教職員の研修。今年も教職員を秋田県に派遣します。先進地を肌で感じてきてもらい、教職員のレベルを上げることに力を入れていきます。

議長 秋田県は学力試験で優秀な成績の県ですね。孟母三遷というように、教育水準の高さは、「選ばれざる」ための重要な要素だと私も思います。

教育長 一昨年に秋田県の横手市の学校に視察に行った際に感じたことが二点ありました。

一つ目は、公開された授業研究会への各校からの先生方の臨み方です。近隣の学校の先生から授業に対して、容赦なく数多くの厳しい指摘がありました。「何であの場面で、あのような質問をしたのですか。あれで、子どもは何を考えた理解できるのでしょうか」

と財源を投入し、また真心を込めた食事を提供できるよう給食センターも頑張っていますので、応援していただければ幸いです。

第二次総合振興計画の実現へ

司会 最後に町長から今後の抱負をお願いします。

町長 町長になって4年目ですが、私のテーマは、第二次総合振興計画の将来像、「人と自然の優しさ」にふれる町ときがわ、これを実現するため、政策を執行していきます。古くから、子どもたちには夢を、若者には仕事を、お年寄りには安心を、と言われていました。子どもたちには食と教育で選ばれた町を。若者には、住みたい・住み続けたいと思える町を。お年寄りには、いよいよ団塊の世代が後期高齢者になつていく時代に安心を与えるという意味でも、健康で長寿の町を目指していきます。それらに力を入れて政策を進めていきたいと思っています。

司会 皆さん、本日はありがとうございました。



教育長 副町長 議長 町長

本年もよろしく申し上げます

か。「などと白熱した議論が続きます。その遠慮のない真剣な議論は、全て子どもたちに還元されていくと感じました。翌年には、参観者側の先生が授業を公開し、さらに「段高いレベルの授業を展開しながら、お互いの授業力を高めていく構図になっていました。」

二つ目は、小学生の話を聞く態度が素晴らしいことです。先生の話だけでなく、友達の意見もしっかり聞き、さらに、自分の考えを臆せずはっきりと発表していました。お互いの信頼関係が構築されているのが一目瞭然でした。話を食い入るように聞くというのは、まさにあの姿のことだと感じました。

司会 それは県やその地域が努力したからですか。

教育長 そうだと思います。自然には育たないことだと思っています。学校と家庭が協力し、同じ価値観で子育てを行い、そうした雰囲気や土壌のもとに、教育が展開されているようでした。

議長 秋田県がなぜこれだけ良いのか、改善されたのか、それを習得してもらいたいですね。田舎の子は潜在能力があるんです。私も都会に出たときは周りの皆がすごいと感じま

※英語村…町内の小学4～6年生が対象の、ときがわ町小学生英語体験教室「英語村」。本紙21ページに掲載。
 ※日本全国各地の料理を提供…「日本全国味めぐり」のこと。広報ときがわ令和2年12月号4～7ページに掲載。